

《甲東梅林》

梅 びらき・文化祭

平成28年2月19日(金)から 3月7日(月)まで

*上記期間は文化祭開催期間で、観梅は常時午前9時～日没まで可能です

地元市民のみなさんをはじめ、広く阪神間の人々にも親しまれています甲東梅林は、日毎にふくらみ2月から3月にかけて清楚な香り高い花を庭内いっぱい咲かせてくれます。

早春の一日、みなさまのご観梅をお待ちしております。

また、あわせて甲東公民館文化祭を開催して日頃、公民館グループとして学習に励まれた成果を一堂に展示して、みなさまのお越しをお待ちしております。

※期間中の土・日曜日には、甲東地区連合婦人会の協力を得て観梅に風情を添える企画もあります。

甲東梅林の沿革

明治17年(1884年)、貿易商として活躍されていた芝川又右衛門氏だいでいが、この地一帯にブドウ、桃、橙だいだいなどの果樹栽培とともに、梅、桜、楓かえで、樟くすなどの植栽を行ったものが、今日の甲東梅林の始まりとされています。昭和22年(1947年)、甲陵中学校の建設にともない、当時、運動場敷地にあった梅の木を現在の場所に移し、昭和37年(1962年)に甲東公民館が開館するまでは、同校の生徒によって手入れがされていました。

また、甲東公民館の改築にともなう梅林の整備も、阪神・淡路大震災をはさんで平成9年(1997年)に完了し、同年より公園施設としてみなさんに親しんでいただいています。

このような沿革をもつ梅林には、樹齢80年から130年のものが多く、種類も早咲きから遅咲きまで39品種(約200本)に及んでいます。さまざまな形や色をした梅の花が1月から3月までの長い間にわたってすばらしい花の宴を楽しませてくれます。

品種は豊後ぶんご、白加賀しろか、白玉梅が(玉梅)、林州はくぎょくばい、南高たまうめがよく知られていますが、他にも白難波りんしゅう、道知辺なんこう、などがあり、色は白、淡紅、濃紅色、花卉も一重咲き、半八重咲き、八重咲きなどと多彩です。

毎年6月には、地元地域団体のご協力を得て、こどもたちによる「梅の実狩り」も行っています。

(付近見取図)



西宮市立甲東公民館 (甲東梅林)

西宮市上甲東園2丁目11番60号

(TEL・FAX 0798-51-3748)



※ 公民館周辺には駐車場がありませんので、自動車によるご来館はご遠慮ください。